

評価：「A：たいへんよく取り組んでいる」「B：よく取り組んでいる方である」「C：少し改善（努力）することがある」「D：まだ改善（努力）しなければならない」

椎葉村立不土野小学校

	評価項目（指標）	○実践内容 ◆具体的目標	方策・手立て	自己評価	結果の考察・分析による成果と課題（）は昨年度の結果	監修会議録	学校運営協議会評価コメント
確かな学力の向上	1 分かる！・できる！授業の展開	○チェックポイントに基づく授業改善 ○児童一人一人の課題の明確化 ○基礎的・基本的な内容（音読・漢字・計算）定着 ○ICT機器の効果的な活用 ◆学校評価（基礎学力項目）の全体平均3.2以上	○授業研究会（主題研究）を中心とした日々の授業改善 ○問題集やAI型ドリル教材を用いての習熟の時間の確保による児童一人一人の実態把握と、個に応じた指導の充実 ○定期的な椎葉村ユニット学習の実施	A	◆学校評価の結果・・・3.2（3.5） ○授業内で習熟を求める時間を設定し、AI型ドリル教材の活用や個別指導により、基礎・基本的な内容の定着を図った。 ○1・2年生、4年生は道徳と社会において尾向小学校と椎葉村ユニット学習を行っている。昨年度の経験を踏まえ、研修・研究授業を行い、より充実した授業を行い、児童は多様な意見を交流することができた。 ◆学校評価の結果・・・2.4（2.7） ○朝の時間や家庭学習で、読解力向上を目的とした問題集や計算問題を取り組んできた。今後も継続していきたい。 ○文章中心の本を読む読書時間の設定、隙間時間の読書を奨励 ○ワーキングを活用した落語解釈の指導の工夫と5つのポイントを生かした表現力の向上		○6年生以外は1人クラスのため、各児童に合わせた勉強スタイルで指導が行われており、学力の向上を感じられた。 ○読書の習慣を身に付けるために、家庭で親子読書を15分程度してみるというのもよいと思う。 ○タブレット活用と読書の相関は、広く情報を集め対応策を検討してはどうだろう。 ●家庭との連携は、長年の課題となっているようなので、地道に取り組んでもらいたい。 ●ICT機器の活用も必要だが、本を実際に手にとって読み、興味をもつことは大事なこと。 ●家庭学習については、保護者の積極的な取組が大切ではないか。
	2 読解力の向上	○読解力の知識・技能の指導と要約活動推進 ○読書活動の推進（目標冊数1200） ○落語指導の充実 ◆学校評価（読解力項目）の全体平均3以上	○問題集を活用した読解力向上と要約活動推進 ○読書目標の設定と、紙割り班ごとの読書量の数値化 ○文章中心の本を読む読書時間の設定、隙間時間の読書を奨励 ○ワーキングを活用した落語解釈の指導の工夫と5つのポイントを生かした表現力の向上	B	○問題集を活用した読解力向上と要約活動推進 ○読書目標の設定と、紙割り班ごとの読書量の数値化 ○文章中心の本を読む読書時間の設定、隙間時間の読書を奨励 ○ワーキングを活用した落語解釈の指導の工夫と5つのポイントを生かした表現力の向上		B
	3 学習態度・学習習慣の定着	○ていねいな文字の指導 ○家庭学習の充実 ○前日準備の徹底（忘れ物0） ◆学校評価（学習習慣項目）の全体平均3以上	○立脇や鉛筆の持ち方、ノートの使い方等の指導と学習帳や自學帳の提示・紹介（回る漢字ノート） ○進ん取り組む児童への積極的・具体的な称賛と個に応じた声掛けや指導の工夫 ○連絡帳への前日準備の明記と自己評価 ○家庭学習の大切さや必要性について考える場の設定 ○保護者の必要に応じた情報共有や共通実践	C	○立脇や鉛筆の持ち方、ノートの使い方等の指導と学習帳や自學帳の提示・紹介（回る漢字ノート） ○進ん取り組む児童への積極的・具体的な称賛と個に応じた声掛けや指導の工夫 ○連絡帳への前日準備の明記と自己評価 ○家庭学習の大切さや必要性について考える場の設定 ○保護者の必要に応じた情報共有や共通実践		
豊かな心の育成	1 基本的生活習慣の定着	○「よい子の約束」「不土野っ子あたりまえのこと4ヶ条」の徹底 ○立腰指導の継続と工夫改善 ◆学校評価（基本的生活習慣項目）の全体平均3以上	○不土野小よい子のやくそく・不土野っ子あたりまえ4ヶ条の周知と実践 ○立腰の体に与える影響の周知と立腰の継続維持	B	◆学校評価の結果・・・2.5（3.1） ○折に触れて全職員で「不土野っ子あたりまえ4ヶ条」や「不土野小よい子のやくそく」について指導を重ねてきた。少しずつ意識して行動できるようになってきた。 ●姿勢について、授業中や集会等で声かけし意識付けを図ってきたが、今後も指導を継続していく。		
	2 思いやの心と命を大切にする教育の推進	○縦割り班の活動の充実 ○道徳科の工夫・改善と評価 ○「抱っここの宿題」による自己肯定感の醸成 ◆学校評価（思いやに係る項目）の全体平均3以上	○望ましい人間関係の醸成を目指した教育相談アンケート実施 ○多様な道徳的価値にふれる授業実践（椎葉村ユニット学習） ○教育相談アンケートの結果の共有、対策の共通実践による思いやの言動・態度の育成 ○「抱っここの宿題チェックカード」の活用	B	◆学校評価の結果・・・2.4（3.1） ○教育相談アンケートをもとに、職員間で課題に対する支援方法を話し合い、共通理解を図りながら指導してきた。 ○尾向小ととの週1回の道徳での椎葉村ユニット学習を通して、様々な道徳的価値にふれることができた。 ●友達に対する言葉遣いについては、改善傾向にあるが、引き続きその都度指導していく必要がある。		B
	3 危機管理と安全指導の徹底	○危機管理マニュアルの改善 ○安全点検と迅速な修繕 ○児童の安全意識の向上 ◆学校評価（安全に係る項目）の全体評価3.2以上	○危機管理マニュアルの改善と周知徹底 ○安全点検と迅速な修繕 ○児童の安全意識の向上 ◆学校評価（安全に係る項目）の全体評価3.2以上	B	◆学校評価の結果・・・2.7（3.1） ○年間4回避難訓練を行い、自他の命を守る行動が取れるように安全意識の向上を図ることができた。 ○学校での過ごし方やきまりについて指導を重ねてきたことで、徐々に自他の安全に気付けて生活ができるようになってきた。		
たくましい体の育成	1 体力の向上	○個に応じた目標の設定 ○体育の時間や休み時間の運動量確保 ○走力、柔軟性が向上する指導 ○運動の日常化及び体力向上 ◆柔軟性の調査で、4月から向上した児童100%	○外遊びや合同体育の実施、認定証の活用等を通じた体力向上の取組 ○体育的行事の目標設定と振り返り、主体的な行事への取組 ○教員の整備や整理整頓による怪我や事故防止 ○一輪車・縄跳び検定表の活用	B	◆学校評価の結果・・・2.6（3.2） ○全員で遊ぶ日を設け、週に数回は外遊びをすることで、体力の向上を図ることができた。 ○検定表や記録表を活用することで、児童が意欲をもち、主体的に運動に取り組めるようになった。 ○本年度も施設の不備による怪我等はなかった。		
	2 健康の保持・増進	○早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムの習慣化 ○歯磨き指導の充実 ◆学校評価（生活リズムに係る項目）の全体平均3.3以上 ◆むし歯治療率100%	○毎朝の健康観察時のチェック ○保健だよりや治療勧告による保護者への啓発 ○保護者と連携した生活習慣についての個別指導 ○児童の健康課題を踏まえた学校保健委員会の実施 ○毎日の給食後の歯みがき指導（H-1グランプリ） ○学校歯科医や養護教諭による歯磨き指導（月1回の染出し） ○個別の健康相談での治療勧告	B	◆学校評価の結果・・・2.5（3.4） ○毎朝のチェックで早寝・早起き・朝ご飯が身に付いてきた。 ○はみがき指導を充実させたことで、丁寧なはみがきが身に付くとともに、自分の歯を自分で守るという意識が向上した。また、学校保健委員会でも歯と口の健康について取り上げ、更なる意識向上につなげた。今後も家庭との連携を図っていく。 ●むし歯治療率…50%（保有者4人、治療済2人、治療中2人） 再度、個別に治療勧告を行っていく。		B
	3 食育の推進	○食に関する指導と「弁当の日」の確実な実施 ◆学校評価（食に関する項目）の全体評価3.5以上	○給食時間の食事のマナー指導 ○参觀日等での食に関する授業の実施 ○給食一口メモなどを活用した食についての指導 ○段階をふまえた「弁当の日」の取組	B	◆学校評価の結果・・・2.7（3.3） ○「弁当の日」は、保護者の協力を頂き、児童が自分のレベルに合わせて挑戦することができた。 ●食事のマナーは改善傾向であるが、今後もその場での指導を徹底していくとともに、家庭での協力を呼びかけていく。		
開かれた学校づくりの推進	1 標的的な情報発信	○学校だより、学級通信の定期的な発行 ○HPの充実 ◆学校評価（情報発信に係る項目）の全体平均3.4以上	○学校便り（毎月）や学級通信（毎週）の発行 ○P.T.A・地区委員会、学校運営協議会の計画的な実施 ○学校HPの毎日更新・内容充実（学校目標との関連記載） ○役員会・常会等での積極的な情報発信と協力依頼	A	◆学校評価の結果・・・3.4（3.8） ○ほぼ毎日学校HPを更新し、学校での活動や児童の様子を発信してきた。また、毎月学校便りを地域の全家庭に配付してきた。 ○学校運営協議会は学期に1回実施し、学校教育についてのご意見をいただきました。 ○地区の役員会に参加し、情報発信や学校行事等への協力依頼をしてきた。		
	2 地域人材の積極的活用	○民謡・落語の外部指導者の招聘 ◆学校評価（地域連携に係る項目）の全体平均3.3以上	○民謡・落語指導者との連絡・調整（活動2ヶ月前に完了） ○「総合的な学習の時間」の内容検討及び支援（担当職員） ○地域人材の振り起こしと連絡体制の整備・充実	A	◆学校評価の結果・・・3.1（4.0） ○年間計画に沿って、民謡・落語の指導を計画的に行なうことができた。大きな行事の前のや大会前など重点的に行なうことで、効果的に指導をすることができた。 ○椎葉村学が始まり、地域人材を改めて掘り起こすことができるなど、地域の方の協力のもと学習を進めることができた。協力してくれた地域の方に感謝したい。		A
	3 地域愛の高揚	○地域の行事への積極的参加、民謡・落語指導の充実 ○地域学習（椎葉村学）の充実（総合的な学習の時間等） ◆学校評価（地域愛に係る項目）の全体平均3.2以上	○地域行事に関する資料の収集と児童への理解推進 ○椎葉村学を充実するための地域人材と地域素材の活用 ○ふれあい参觀日・学習発表会等の内容充実（相手を意識した発表の工夫等）	A	◆学校評価の結果・・・3.4（3.8） ○平家祭りやひみつき節日本一大会、子ども落語全国大会等、様々な地域の行事に参加することができた。 ○校内でも学習発表会やふれあい参觀日で落語や日頃の学習の成果を発揮する場面を設定し、実施することができた。		

## 校長所見

- 今年度も椎葉村ユニット学習を定期的に実施した。尾向小学校とは昨年度同様に、また4年生の道徳の授業では椎葉小・尾向小と3校でつなぐ授業も実施した。他校の児童と様々な意見交流ができることで学びが深まり、複式指導の解消にもつながった。ICT機器の活用では、A1型ドリルも効果的に活用しながら学力の向上を図っている。教員も、教員間の授業研究を活発化させ、相互参観や研究授業を行ない、授業改善に向けた組織的な取組を推進した。また、外部研修への参加を奨励し、最新の教育理論や指導法を取り入れた。
- 「不土野っ子あたりまえ4ヶ条」を意識する児童が増えており、次年度も引き続き指導を行ながる。様々な活動を通してよいところを褒め自信をもたせていく。特に、児童の優れた行動や努力を具体的に認め、称賛することで、児童の自己肯定感を高め、更なる成長を促していく。
- 保健については、学校保健委員会では、椎葉中学校の栄養教諭による講習に加え、児童自身が食生活を振り返る機会を設けた。朝食に関する情報提供などをとおして、家庭との連携を強化していく。体力向上については、体育の時間のみならず昼休みに外で遊ぶことを推奨していく、体を動かすことの楽しさを味わわせることで、基礎体力や運動技能をより一層高めていく。
- 開かれた学校づくりについては、学校便りや学校HPで情報発信を継続するとともに、地域の皆様が学校の教育活動に参加していくことで連携を深めることができた。今後学校便りやホームページに加え、SNSを活用した情報発信の方法などを模索し、地域住民とのコミュニケーションをさらに活性化させていきたい。地域と共にある学校づくりを目指し、地域との連携をさらに深めていきながら、不土野愛をもった児童を育成していきたい。